

委 23-2

静止気象衛星 2 号 (GMS - 2) の打上げのため
に講じた対策の実施状況に関する審議について(案)

昭和 55 年 11 月 19 日
宇宙開発委員会 決定

昭和 56 年度 8 ~ 9 月期に打上げが予定されている静止気象衛星 2 号 (GMS - 2) については、昭和 52 年 7 月に打ち上げられた静止気象衛星 (GMS) に打上げ後一部不具合が生じたこと及び本衛星が昭和 55 年 2 月、静止軌道投入段階で不具合を生じた実験用静止通信衛星 (ECS - b) 以後最初に打ち上げられる静止衛星であることに鑑み、次により調査審議を行うものとする。

1. 宇宙開発事業団が本衛星の打上げのために講じた対策のうち、次の技術的事項に関する対策の実施状況について調査審議を行う。
 - ① スピン軸のずれ及びずれの変動
 - ② 可視・赤外走査放射計の光電子増倍管の高圧電源
 - ③ アポジモータ
 - ④ 衛星構体系

2. 1. の調査審議は第四部会において行い、昭和 56 年 4 月末までに終わることを目途とする。

宇宙開発委員会第四部会構成員

昭和55年11月

(50音順)

部会長	佐 其 亦 男	日本大学理工学研究所顧問
部会長代理	内 田 茂 男	名古屋大学工学部教授
専門委員	秋 葉 録二郎	東京大学宇宙航空研究所教授
	大 島 耕 一	東京大学宇宙航空研究所教授
	柴 原 芳 高	郵政省電波研究所長
	五 代 富 文	科学技術庁航空宇宙技術研究所主任研究官
	小 林 繁 夫	東京大学工学部教授
	中 込 雪 男	国際電信電話株式会社取締役
	長 洲 秀 夫	科学技術庁航空宇宙技術研究所 宇宙研究グループ総合研究官
	林 友 直	東京大学宇宙航空研究所教授
	* 平 井 正 一	宇宙開発事業団理事
	* 平 木 一	宇宙開発事業団理事
	前 田 弘	京都大学工学部教授
	虫 明 康 人	東北大学工学部教授

注) *印の専門委員は、今回の調査協議については、説明者として参加する。